

## Interview



### みんなで北方領土を 考えることができる 素晴らしいイベント です。

大阪府堺市在住・大学院生  
福永 憲子さん

北方領土まで歩こう会  
は、今年で5回目の参加  
です。毎年、健康で参加

できることに喜びを感じています。

今回の歩こう会は、根室のおいしい空気や自然、  
人とのふれあいを楽しみながら北方領土の近さを感じ  
ることができ、有意義な時間を過ごせました。

根室と大阪を比べると、北方領土に関する温度差  
が激しいので、このようなイベントに積極的に参加  
して、北方領土問題をもっとたくさんの人に伝えて  
いきたいと思います。

## 貝殻島までわずか3・7キロ ゼッケンには返還を願うメッセージ

国後(16<sup>キロ</sup>)、水晶(7<sup>キロ</sup>)、  
貝殻(3・7<sup>キロ</sup>)。「北方領  
土まで歩こう会」は、本土か  
ら北方領土までの最短距離に  
ちなんだ3つのコースに分か  
れ、だれでも気軽に参加でき  
るウォーキングを通して、北  
方領土までの距離の近さを体  
感し、領土問題解決の意識向  
上につなげようとするもので  
す。

当日は青空が広がり、根室  
らしい爽やかな風が吹き渡り  
ました。絶好のウォーキング  
日和に、参加者の胸も踊りま  
す。

今年のゲストウォーカーは、  
根室出身の落語家・金原亭馬  
遊さんと元島民2世でもある  
三遊亭金八さんです。2人は  
落語の衣装を身にまとい、相  
棒の腹話術人形「ター坊」と  
一緒に参加です。  
ゲストウォーカーが参加し  
た水晶コースは、300人余  
りが参加しました。馬遊さん

と金八さんは愛きょうたっぷ  
りで、子どもたちにも大人気  
です。「がんばってください!」  
と、お互いに励まし合いなが  
ら、楽しくゴールの納沙布岬  
を目指しました。

小さな子ども連れの親子な  
どもたくさん参加した貝殻コー  
スは、660人余りが瑤瑤瑤  
保育園から出発しました。チ  
ビ子たちの元気な姿に、お  
父さんお母さんからも自然と  
笑顔がこぼれ、家族の絆が一  
層深まったようです。

どのコースの参加者も、沿  
道に咲き乱れる色鮮やかな野  
の花や広大な草原で静かに過  
ごす牛の群れ、前浜が茶褐色  
に輝くコンブ干しの風景など  
根室半島の自然や風物詩など  
も満喫することができました。  
根室半島の魅力にウォーカー  
同士の会話も弾み、新たな交  
流も生まれます。

北方領土の近さを実感した  
参加者全員のゼッケンには、  
「北方領土は僕たちの島だ!」  
など、それぞれの熱いメッセー  
ジが書かれました。思いを込  
めて踏み出した一歩は、北方  
領土早期返還を叶えるための  
一歩となりました。



①友達と一緒に歩くと楽しさ倍増!参加者はほのほのとした  
時間を過ごしました。②返還を願う1,127人の大行列は圧巻。  
③気持ちいい汗を流したから、冷たい飲み物は最高!④手をつ  
ないで仲良く歩く姿がとてもほほえましい。

